

都会の農業の魅力いっぱい！

見る・買う



園芸生産物品評会

市内の生産者が丹精込めて育てた野菜、果物、花き、植木が集います！ 優秀な出品物には神奈川県知事賞などが授与され、一般観覧後には出品物の即売会も開催します。ぜひ、ご来場ください！

- 開催日：平成30年11月22日（木）
- 一般観覧：9時半～11時
- 即売会：11時～売り切れまで
- 会場：セレスモス宮前店
(東急田園都市線宮崎台駅北口徒歩6分)

問い合わせ：経済労働局農業技術支援センター
TEL 945-0153 FAX 945-6655

コラム

知っていますか？ “市民防災農地”

～農地は市民の安全・安心を守る大切な役割を果たしています～
普段は農作物の供給や、緑の空間として潤いをもたらしてくれる農地ですが、火災時の延焼防止や、大震災時の一時避難場所等としての防災機能を有するなど、都市における農地は多様な役割を果たしています。

川崎市には、農業者の協力のもとに、大震災が発生した際の一時避難場所として「市民防災農地」の登録制度があります。市内には498か所（平成30年1月1日現在）の防災農地があり、農地内に看板やシール（生産緑地の看板に貼付け）で表示してありますので、万が一に備え、近所の防災農地を確認してみてください。

問い合わせ：経済労働局都市農業振興センター農地課
TEL 860-2461 FAX 860-2464

指定避難所	居住地ごとに指定された避難場所 ※小・中学校等
一時避難場所	指定避難所への避難が困難な場合の 一時的な避難場所 ※市民防災農地、公園等



平成29年度から、このような看板を順次設置しています。



学ぶ・実践する

かわさきそだち栽培支援講座受講生を募集します！

農家の手伝い・援農ボランティアとして活動していただける市民の人材育成を目的に開く講座です。農業技術支援センターでの野菜の基礎的な講義や実習、生産現場での農作業を通して、野菜栽培を学んでいただきます。

- 期間・日時：平成31年4月～平成33年3月（2年間）・一部を除いて水曜日の午後 2～3時間程度
 - 回数：平成31年度 11回、平成32年度 10回…計21回（予定）
 - 内容：野菜栽培について土づくり、種まき、植付、収穫等を予定
 - 募集人数：20名（応募者多数の場合は抽選）
 - 応募資格：①市内在住70歳以下の方 ②講座終了後、援農（農家への手伝い）に参加できる方 ③野菜の栽培に興味や関心のある方
 - 応募期間：平成30年11月1日（木）～12月14日（金）まで
 - 応募方法：次の事項を記入の上、メールまたはFAXでお申し込みください。
(郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・生年月日及び年齢・電話番号・応募の動機)
 - 受講料：1年目：2,700円程度、2年目：6,000円程度（予定。他に損害保険料等2,000円程度。）
 - 修了：2年間で80%（21回のうち17回）以上の受講で修了書を交付します。
 - 修了後：講座修了後は、結実農会（援農者組織）とともに市内の農家で活躍していただきます。
- 問い合わせ：経済労働局農業技術支援センター TEL 945-0153 FAX 945-6655 メール 28nougic@city.kawasaki.jp

HPには今回紹介したイベントのほかにも、直売所の一覧や農業体験イベントなど情報が満載です。メルマガもお届けできます。



問い合わせ：
経済労働局都市農業振興センター農業振興課
TEL 860-2462 FAX 860-2464